

社協だより あい♡愛は、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

瑞穂市社協だより



社会福祉法人
瑞穂市社会福祉協議会

ふれあいネットワーク

あい♡愛

No.113

2022.4(R4)



＜今月の表紙＞

～ふれあいいきいきサロン訪問活動～

「元気にしてる？」「ありがとう、会えてうれしい！」

コロナ禍でサロンが開催できない中、ボランティアのかたが訪問してようすを伺いました。

写真は、「悠・楽・笑 生津サロン」の訪問活動のようすです。

市内各地で、コロナ禍でもつながりを絶やさない工夫が広がっています。

通学路見守りボランティア研修会

「正しく学んでスキルアップ 安全・安心にできる見守りボランティア」

子どもたちを地域で見守るという意識が高くなっており、通学路見守りボランティアの登録者が増えています。子どものことはもちろん、ボランティア自身が安全・安心に見守り活動ができるように、岐阜県県民生活課課長補佐 林 隆彦氏、恵那市の大井町地域防犯パトロール隊隊長 岩井 慶次氏を講師にお迎えし、研修会を開催しました。



この研修会で林氏からは、岐阜県交通安全協会が出している、通学児童安全誘導ブックをもとに、子どもが道路を横断するときの安全な誘導方法を学びました。

岩井氏の講演では、地域の安全は自分たちで守る意識と取り組みが必要と感じ、町民有志と自治連合会会長を中心にパトロール隊を設立しました。小中学校や保護者会、消防団をはじめとした町内にある団体等へ呼びかけをしたことにより、多くの団体が加盟されました。

活動の内容もたくさんあり、放課後や夜間、随時のパトロールだけでなく、わんわんパトロールとして犬の散歩をすることで、『見守りの目を増やすことができる。』ことを学びました。

『できる人ができるときにやる』ことで、普段の生活が子どもたちの安全だけでなく、地域の防犯にもつながってくることに気付き、今後の担い手づくりのヒントになったと思います。

日常生活を通じて、子どもたちの安全を見守ることができます。皆さんも子どもたちの登下校の時間に犬の散歩をする、通学路をランニングコースにすることで、事件や事故を未然に防ぎ、子どもたちの安全安心と健やかな成長を支えませんか。



岩井氏による講演会のようす

収集ボランティアにご協力
ありがとうございました



本会では、使用済み切手を集めています。住民のかたや学校、企業等のご協力により、多くの使用済み切手が集まっています。

■令和3年1月から令和4年1月に集まった使用済み切手 2,119g

『認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会』に送付し、途上国の子どもたちのワクチン支援に活用されます。

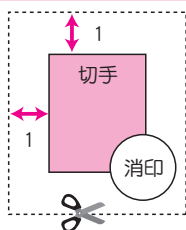
※使用済み切手の収集方法※

・消印の日付と地名が残るよう、切手周辺を1cm程度残して、封筒ごと切ってください。

※封筒の裏側は取り除いてください。

・日本の切手と外国の切手を分けてください。

消印が残るように切り抜かれた切手1kgで、BCGワクチン75人分を子どもたちに届けることができます。



ボランティア
登録者数
《R4. 3. 1現在》

団体	90団体
	1,132名
個人	98名
災害ボランティア	30名
合計	1,260名

ボランティアに関するご相談等は、
瑞穂市ボランティアセンターへ

(TEL 327-8610) 担当：高橋・松野

福祉作業所（多機能型）とは、障害者総合支援法に規定されている主に通所による就労や生活上の支援を行う障がい福祉サービス事業所です。



願いよ届け!! ～大垣八幡神社へ初詣～



晴天の中、初詣に出かけました



真剣にお願いしています

「健康になりたい!」「もっと賢くなりたい!」「あのゲームが欲しい!」「あの子と仲良くなりたい。」…などなど。みんなどんな想いを込めて手を合わせているのでしょうか。想いをお賽銭に託して、みんな真剣に拝んでいるのは大垣八幡神社です。瑞穂市ではないですが、お隣の市ということもあって、親しみのある土地ですね。

こういう状況の中、ささやかではありますが、新年を迎え心新たに自分と向き合う、とても良い時間になったと思います。

おっ!早速ご利益!!豊住園ビンゴ大会で、とっても豪華な景品が舞い降りました!



日帰りバス旅行～常滑・まるは食堂への旅～



車窓から見える雪景色に大興奮!



大きなエビフライでした

12月27日、リフレッシュと社会見学を目的とした、毎年恒例の日帰りバス旅行に出かけました。大雪に見舞われた日となりましたが、愛知県常滑市までの道中、車窓から見える雪景色をみんな楽しんでいました。

今回の旅の目的のひとつ、「まるは食堂」では、とても大きなエビフライを食べる事ができて、みんな満足な様子でした～!

久しぶりの旅行で皆さん気分転換ができ、また明日からの仕事もがんばれますね。

豊住園、すみれの家では、様々な商品を作り販売しています。販売商品の詳細につきましては、本会のホームページ (<https://www.mizuho-shakyo.org>) にカタログを掲載しておりますので、ご覧いただくか、各作業所までお問い合わせください。

瑞穂市社協



こちらから
カタログが
見られます→



地域包括支援センターだより



瑞穂市別府1283番地(総合センター1階) TEL 327-4118



閉じこもりがちな今、フレイル予防を！

コロナ禍で外出の機会が減少傾向にあり、生活が不活発になることで「フレイル」が進むことがあります。「フレイル」とは、加齢に伴い筋力や心身の活力が低下した状態を言います。

フレイルが進むと、体の回復力や抵抗力が低下し、動作が行いにくくなったり、疲れやすくなったりします。また、介護が必要な状態になる可能性が高くなります。

フレイル予防のポイント

- ・バランスの良い食事を3食欠かさず、しっかり噛んで食べましょう
- ・タンパク質を摂りましょう
- ・毎食後、寝る前の歯みがきを！



食事・お口の機能



- ・動かない時間を減らしましょう
- ・自宅でも出来るラジオ体操や足踏みなどで身体を動かしましょう！
- 散歩もお勧めです

運動



- ・外出しにくい今こそ人との交流は大切です
- 家族や友人とちょっとした挨拶や会話を！
- ・電話も活用し、意識して会話を増やしましょう



社会参加



いつまでも生き活きと元気で暮らせるよう、くつろぎカフェでは健康体操やレクリエーションを感染拡大防止対策を講じて実施しています。



くつろぎカフェのご案内



自宅での検温、マスク着用にご協力をお願いします。

場 所	古橋北公民館	駅西会館	本田コミュニティセンター	牛牧南部コミュニティセンターついの泉
開催日	毎月第2火曜日	毎月第2木曜日	毎月第3水曜日	毎月第4木曜日
時 間	9時30分～11時	9時30分～11時30分	10時～11時30分	9時30分～11時30分
参加費：100円 対象者：市内在住のかた どなたでも 予約不要です。				

※岐阜県に緊急事態宣言が発令されている場合など、感染症のまん延状況によって当日に連絡なく開催を見合わせる場合があります。開催の有無は、地域包括支援センター（☎ 327-4118）までお問い合わせください。

令和4年度 市民のための認知症勉強会 認知症サポーター養成講座開催のお知らせ

○会 場：瑞穂市総合センター 1階 地域福祉ルーム

○開催日：5月28日（土）

○時 間：13時30分～15時（受付：13時15分～）

※事前予約制となっております。地域包括支援センター（☎327-4118）に5月23日（月）までにお問い合わせください。



認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する応援者になりませんか？ぜひご参加ください。

令和3年度地域福祉推進セミナー 地域共生社会を考える ～みんなちがってみんないい 共生社会を地域から～ を開催しました！

1月15日、38名のかたにご来場いただき、地域福祉推進セミナーを開催しました。

第1部では、昨今の社会問題のひとつである8050問題を題材とした映像「カンパニユラの夢」を視聴しました。六角 精二さん演じるひきこもりの男性とその家族、そして近隣住民の関わりが描かれたドラマです。その中で、8050問題が誰にでも起こりうること、地域で孤立し支援を必要とするひとたちに対して地域住民としてできることを考える機会となりました。



講師:又村あおい氏

第2部は、全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長の又村 あおい氏のご講演「地域共生社会ってなんだろう 地域共生社会実現のために私たちにできること」です。評判どおりの切れの良い語り口で、「地域共生社会」について、事例も交えながらわかりやすくお話いただきました。

地域共生社会の実現には、「福祉」を中心に考えるのではなく「地域」を中心に考えることが重要で、「地域×〇〇」といった地域中心の掛け合わせを増やしていくことで、地域の自分ごととなり波及していくというお話は、今後の取り組みのヒントとなるように思いました。

講演終了後には、受講されたかたがたから、「とても良いお話だった。」「もっと多くの住民に聞いてもらえるようにすると良い。」等の感想をいただきました。ありがとうございました。

ミニ展示コーナーでは、ふれあいアートステーション・ぎふのアート作品やTASCぎふコラボ展vol.6の作品、多様性やアールブリュット、農福連携等に関する書籍・雑誌等を展示しました。

講演の最後には、地域共生社会実現のために、さまざまな立場の人・組織が、それぞれの立場で出来ることを例示いただきました。地域を中心として私たちにできることを考え、みんなで力を合わせて、地域共生社会を実現していきましょう。



受講のみなさんのようす



ミニ展示コーナーのようす

令和3年度瑞穂市社会福祉大会を開催しました！

2月27日、令和3年度瑞穂市社会福祉大会の記念講演が開催されました。～想いをつなぐ～「子ども・若者と共に創るまちづくりへ」をテーマにして、NPO法人「ゆめ・まち・ねっと」代表の渡部 達也氏・美樹氏から、お話をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンライン限定の開催となりましたが、市民のかたがたをはじめとして、子ども食堂や居場所づくりに関わる関係者のかたにも多くご参加いただくことができました。

「参加者のかたとできるだけ交流する時間を設けたい」という講師の渡部氏の意向により、講演の大半を質疑・対話形式で行われました。渡部氏からは、「今、目の前にいる子どもや若者と関係をつくり、絆を深めることで、活動に参加していた子どもが親になってもつながり続けてくれたり、数年後に出会い直せることもある」と、地域に居場所があることにより、人と人の縁をつなぐ手段の確保や、きっかけをつかむ選択肢となることを教えていただきました。

今回の講演を通じ、地域には、私たちが知らず知らずのうちに生きづらさを感じながら過ごす子どもや若者がたくさんいることに、改めて気づかされました。子どもが中心となって笑顔があふれる多様な居場所を生み出していくことが、地域全体を明るく照らすきっかけになるのではないかと、実感できた機会となりました。今後も子どもの居場所づくりを通じて、地域のつながり強化に向けて取り組んでいきたいと思ひます。



講師の渡部 達也氏(中央)

地域に広がる支え合い活動

～生活支援体制整備事業 令和3年度の取り組み～

瑞穂市では、市全域と小学校区において、生活支援体制整備事業を進めています。現在、5つの小学校区で協議体が設置されています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動が制限されて2年経ち、対策を講じながら少しずつ活動を進めている状況です。令和3年度の活動を紹介します。



市全域

～地域の支え合いで、 いつまでも外出ができるまちをつくらう～

市全域を対象とした地域支え合い推進会議（第1層協議体）において、外出に困りごとを抱えたかたに、買い物支援や外出支援を検討しております。2年度はコロナ禍により、会議を十分に開催することができませんでしたが、3年度は元年度に作成した提言書をもとに、「移動支援の仕組みづくり」に取り組んでいきました。3年度も会議が開催できない時期がありましたが、移動支援サービスの実施例を学び、瑞穂市にある移動支援につながる資源を探しました。そこから、移動支援を地域で立ち上げる際に利用できる手引書を作成していきます。皆さんに活用いただけるように、4年度も引き続き、移動支援の立ち上げのための手引書を整備していきます。



協議体のようす

生津

～住民同士で、世代間で、組織間で もっとつながっていける生津へ～

生津では、自治会連合会を中心に支え合いのまちづくりを推進しています。

3年度は、生津のことを自由に話せる場をつくることから始めようと、「生津校区つながりづくり交流会」を計画しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定通り進めることができない中、地域活動者のかたへアンケートを実施しました。すると、課題に感じていることや新たな取り組みのアイデアなど数多くのご意見を聞くことができました。

アンケート結果を受けて11月13日、第1回目の「生津校区つながりづくり交流会」を開催しました。世代や立場を越えて意見交換をする中で、共通して課題に挙げたことは「つながりづくりの必要性」でした。解決のためのアイデアとして「多世代が顔見知りになるきっかけとしての“子どもの登下校の見守り”」と、「中学生などの若者に参画してもらって行う“高齢者のスマホ教室”」、「今ある活動を工夫してつながりを広げること」が挙げられました。

今後、実現に向けた話し合いをしていく中で、つながりの輪や支え合いの輪が広がっていくのではないのでしょうか。



生津校区つながりづくり 交流会のようす

～地域みなさん・福祉施設と一緒に 支え合いのまちづくり～

本田校区では、本田校区自治連合会が中心となり、地域における支え合いに関する事業が行われています。3年度の活動のひとつとして、福祉施設ネットワーク会議が実施されました。校区内に子どもからお年寄りまでを対象とした福祉施設が複数あることから、お互いに顔の見える連携を目指してネットワーク会議を2年度より開催しており、今年で2回目の開催となります。11施設にご協力いただき、本田にとって必要な福祉のありかたについて意見交換を行いました。また、各施設のご協力をいただき昨年作成した施設紹介パンフレットを各世帯、施設に配布したところ、パンフレットを見て相談に来たというかた、自分の住む地区に相談できる施設があることを知らず、もっと早く知りたかった等の声が聞かれました。

今後は施設・利用者同士の交流も含め、地域の皆さんと一緒に取り組める活動にしていきたいと考えられています。ネットワーク会議での話し合いをもとに、施設の実施する事業への地域からの協力や、施設のご協力をいただきながらふれあい・いきいきサロン立ち上げ等の取り組みが進められています。

福祉施設と一緒に地域の新たなつながりをつくっていきけるよう、これからも取り組んでいきます。



協議体のようす

～地域のかたや団体などとの連携を目指して～

平成30年度より、自治会連合会に福祉部会を設立し、地域の福祉課題や住民による支え合いについて、話し合いを行ってきました。

平成30年度、令和元年度は、それぞれ年度末に「地域支え合い推進会議」を開催し、地域におけるつながり活動や、居場所についての話し合いを行いました。過去2回の推進会議を通して分かったことは、地域ごとに様々な活動があり、各々が誰かとつながりながら生活をされていること、もっと地域に集まって活動できる場があれば、一人一人の特技や知識などを活かして、地域の輪が広がるということでした。

過去の活動を通して、話し合いばかりでなく、実際に地域福祉活動を行う組織を立ち上げたいということになり、「地区社会福祉協議会の設立」を目指すこととなりました。令和2年9月に「地区社協設立準備委員会」を立ち上げ、設立に向けた協議を進めて、令和3年12月に設立しました。

令和3年7月には、住民の皆さまに、地区社協の周知と今後の牛牧校区の福祉活動に活かすため、住民アンケートを実施、800通を超える回答をいただきました。現在はアンケートの集計結果をもとに、今後の牛牧校区の福祉活動に活かしていけるよう、分析を進めております。

今後、福祉部会では、地域のさまざまな課題について検討し、地区社協をはじめとした、地域のさまざまなかたや団体、関係機関等と連携をはかりながら、活動していきます。



協議体のようす

～困りごとをみんなで受け止め、解決できる地域にしたい～

穂積校区の住民で構成するわくわく活動委員会福祉小委員会を中心に、「誰もが安心して暮らせる地域」を目指し、日々取り組んでいます。

3年度は、穂積校区のことを知るために、瑞穂市等が策定している計画のアンケートを参考に意見を確認し合いました。それと合わせて、地域の困りごとを地域で解決するための仕組みである、「地区社会福祉協議会」について知る機会をつくりました。

そして「地域の困りごとを積極的に見つけ、解決するための意識をより多くの人に持ってもらうにはどうすると良いか」を考え、委員の皆さんからは次の意見が出ました。

【主な意見】

- ・サロンや駅南金曜市等の活動しながら、困りごとを見つける。
生活支援ボランティアを、小さな地域で実施できると困りごとを把握しやすいのではないかな。
- ・子どもから高齢者まで、定期的に気軽に集まって話せる場所を増やす。そのためには、一緒にやる仲間が必要。お宮掃除の場を活用。老人クラブと子ども会の交流（野菜の収穫、カローリング等を通じて）。
- ・各団体の横のつながり（連携）を取れるようにしていく。お互いの活動を知らないことが多いので、団体同士知り合える機会を。等

今後は、このアイデアを具体化していき、困りごとをみんなで受け止め、解決できる地域を目指していきたいです。



福祉小委員会のような様子

～西校区版「誰もがいつまでも安心して暮らせるまちづくり」～

○西校区地域支え合い推進会議の設立

令和3年4月10日、西校区の自治会長、民生委員・児童委員等22名をメンバーとする、西校区地域支え合い推進会議が設立されました。初年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、予定した会議がことごとく延期となるという、苦難の船出となりました。そのような状況下でも、意見を出し合い、前進し続ける西校区地域支え合い推進会議。みなさんの熱意が伝わってきます。

○地域の実情にあった支え合いを進めていくために

支え合い推進会議のグループワークでは、地域課題として「高齢者の外出」と「地域のつながりの希薄化」という意見が多く出されました。これらの課題解決には実情を知ることが必要と、現在、高齢者の日常生活や外出のニーズ調査が進行中です。4年度はその調査結果を集計・分析し、支え合い推進に活かしていく予定になっています。

西校区のみなさん、西校区地域支え合い推進会議の取り組みにご協力いただき、ありがとうございます。今後も力を合わせて「誰もがいつまでも安心して暮らせるまちづくり」を進めていきましょう。



グループでの話し合いの様子



牛牧小学校6年生

～皆が安心して暮らせる地域をつくるためには～



令和3年度、牛牧小学校の6年生は、総合学習の授業の中で福祉について学びました。「多様性を認め合う私たち」というテーマで、さまざまなかたから話を聞き、地域で自分たちができていることを考えました。

さまざまなかたから話を聞く

まずは、「地域にさまざまなかたが生活していることを知ろう!!」ということで、子育て中のかた、視覚・聴覚障がい者のかた、高齢者のかた、それぞれから、普段の暮らし方や仕事のことなど話を聞きました。

また、認知症キッズサポーター養成講座も実施し、認知症の症状や認知症の人の気持ち、接し方を知り、周りの人が支えていく大切さを学びました。



高齢者のかたについてのお話の様子

地域のかたとの交流

児童は、これまでの学習を通して、「地域で自分たちができることは何か」を考えました。「子育て中のかたにできること」、「視覚障がい・聴覚障がい者のかたにできること」、「高齢者のかたにできること」など、グループに分かれてテーマを決めました。

12月には、地域のかたを学校にお招きし、自分たちが検討しているテーマについて、一緒に考えたり、アドバイスをいただいたりしました。これまでの学習と、地域のかたと一緒に考えたことをもとに、子どもたちは、自分たちができていることをまとめていきました。

2月には、まとめたことを地域のかたに発表しました。当初は、地域のかたを学校にお招きして行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、オンラインで実施しました。

～オンライン交流会～

【子どもたちの発表】

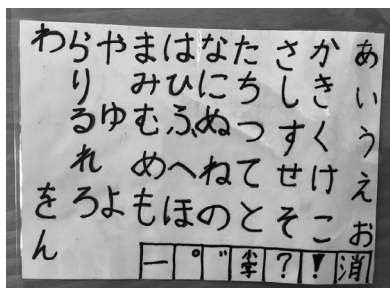
- ・聴覚障がい者とコミュニケーションをとるために、ひらがな表を作る。簡単に作れるし、ポケットにも入れておける。字が書けない子どもでも、字が読めれば、コミュニケーションがとれる。
- ・高齢者のかたと、昔遊びでふれあう機会を作る。お互いが仲良くなれ、コロナ禍によるストレスを少しでも軽減することができれば。
- ・子育ては、楽しいけれど大変なこともたくさんある。子育て中のかたが、ストレス発散できる機会を作るため、ボランティアの人と一緒に親子工作をしたり、話し相手になりたい。など

【地域のかたの感想】

- ・地域のために、具体的に考えてくれたことに感動した。一緒に住みやすい地域を作っていきたい。
- ・まずは近所の人を気に掛け、どのような手助けができるのか考えてほしい。
- ・1つ1つは小さな行動だが、広めることで大きな力になる。ぜひ、皆さんの力を貸してほしい。など

地域のかたは、子どもたちの発表を頼もしく感じ、これからの地域づくりに、大きなヒントを得たようです。

今回の学習が終わりではなく、これからも、地域のために自分たちができていることを、考え行動できたらいいですね。



子どもたちのアイデア“ひらがな表”



オンライン交流会の様子

インフォメーション

～ Information ～

申込み・お問い合わせ先
瑞穂市社会福祉協議会
TEL 327-8610 / FAX 327-5323
メール chiiki@mizuho-shakyo.org

メールはこちら↓



あい♥愛マーケットのお知らせ

あい♥愛マーケットとは？

福祉作業所豊住園、福祉作業所すみれの家の“手作り製品”を販売しています。

開催場所 瑞穂市総合センター 1階 ロビー

開催時間 12時30分～14時

福祉作業所豊住園 ▶
かぎりんクッキー



▶ 福祉作業所すみれの家
パウンドケーキ
(ココア・抹茶・紅茶・
ハニーレモン)

他にも手作り商品
があります。
皆さん、来てくだ
さいね。



瑞穂市マスコットキャラクター
かぎりん

令和4年度 開催予定

[基本第2・4木曜日]

4月	14日	28日
5月	12日	26日
6月	9日	23日
7月	14日	28日
8月	お休み	25日
9月	8日	22日
10月	13日	27日
11月	10日	24日
12月	8日	お休み
1月	12日	26日
2月	9日	お休み
3月	9日	23日

(令和4年2月現在)

都合により変更になる場合があります。市の広報カレンダーでご確認ください。

ホリパパサロン

「ホリデーパパサロン」の略称です。お休みの日に、
お子さんと一緒に遊ぶ時間をつくってみませんか？

参加費
不要

▼内 容 英語ふれあい遊び

▼先 生 Join us 横山 悦子 氏

▼日 時 5月14日(土)
10時30分～11時30分
(受付は10時～)

▼会 場 牛牧北部防災コミュニティセンター
集会室(十九条413-1)

▼対 象 市内在住の3歳以下のお子さんとお
父さん(ご兄弟、お母さん、祖父母
のかた等の参加も可)

▼定 員 10組の親子(先着順)

▼申込み 4月1日(金)より受付

▼当日の連絡先 070-4104-4355



本講座は、赤い羽根共同募金の配分金により実施します。

広告を募集しています

会社、施設を社協だよりでPRしませんか？

掲載の希望、詳細は本会へお問い合わせください。

サイズ たて55ミリ × よこ85ミリ

掲載料 1枠あたり7,000円(本会賛助会員様は5,000円)

※「あい♥愛」は瑞穂市の自治会加入世帯に全戸配布されます。(およそ16,000戸)

社協では出前講座を行っています

本会では、福祉・介護予防等に関する出前講座を開催しております。

自治会の集会や、ふれあい・いきいきサロンなどに出張し、市民のかたに向けて講座を行います。福祉に関する知識を深める機会に、ぜひご利用ください。様々な内容の講座をご用意しております。お気軽にお問い合わせください。



☆開催講座の例

◎地域包括支援センター

- ▶ 認知症予防について
- ▶ 今日からはじめる介護予防
- ▶ 介護サービスってどう使うの？

◎地域福祉課

- ▶ 少子高齢化・人口減少の未来
- ▶ 助け合い体験ゲーム
- ▶ 災害に強い地域づくり

◎福祉総合相談センター

- ▶ 子ども食堂
「出逢いと交流の場の発見」
- ▶ 暮らしにつながる社会保険制度
- ▶ 発達障がいについて知ろう

◎福祉作業所すみれの家

◎福祉作業所豊住園

- ▶ 障がいを持っているかたの理解を深めよう！

※他多数をご用意しております。

- 対 象：市内に在住、在勤、在学しているかたが所属する団体や集まりなど
- メニュー：本会ホームページをご覧ください。窓口にて配布している講座一覧をご覧ください。
- 会 場：主催者側で準備をお願いします。
- 申込方法：本会へ電話もしくはメールでお問い合わせください。
そのうえで、希望日の1か月前までに、「出前講座申込書」に記入し、ご提出ください。
- 受付時間：月～金曜日 8時30分～17時15分 ※年末年始・祝日除く



食料品の寄付をお願いします



「もったいない」の心を困っている人の支援に結び付けていく活動として、「食品ロス」になってしまう食品を寄付していただき、子ども・若者の居場所づくり活動や、生活に困っているかたに提供するフードドライブの取り組みを行っております。寄付をお考えの企業、農業経営者、個人のかたは、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】本会 福祉総合相談センター

T E L、メール (soudan@mizuho-shakyo.org) にてお問い合わせください。

瑞穂市社会福祉協議会表彰状・感謝状贈呈

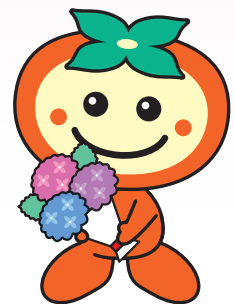
多年にわたり、社会福祉の発展に功労のあったかたへ表彰をお贈りしました。次のかたが受賞されました。おめでとうございます。（50音順・敬称略）

◆瑞穂市社会福祉協議会表彰

- 社会福祉協議会役員
加藤 裕貞
- 社会福祉施設職員
伊藤 カオリ 伊藤 諭美 伊藤 誠敏 大塚 仁子 郡司 尚彦
小寺 彩 佐藤 春代 杉浦 久美子 棚瀬 洋子 末吉 由香里
野玉 明美 服部 美根子 平野 元一 藤本 誠 松井 めぐみ
三谷 俊宏 山田 響 山本 明美 横山 友恵 吉村 清子
渡邊 知一
- 民生委員児童委員
見吉 時夫
- 福祉団体等役職員
安部 兼光 岡田 友孝 桐山 洋二 松野 一二三

◆瑞穂市社会福祉協議会感謝

- 奉仕活動・ボランティア活動
＜団体＞
庄屋敷防犯パトロール隊 橋本ふれあいサロン
瑞穂市社会教育視聴覚研究会 もりもりサロン
＜個人＞
森 厚子
- 現金等の高額寄付
＜団体＞
岐阜西ライオンズクラブ 有限会社森田組



令和3年度赤い羽根共同募金運動にご協力ありがとうございました

（敬称略）

募金内訳
●吉村内科 10,000円
（令和4年1月4日）



←有限会社森田組
による寄付の
ようす

善意のご寄付ありがとうございました

（順不同・敬称略）

瑞穂市菊寿会 142,139円
有限会社森田組 300,000円
Man to Man Passo株式会社 5,000円
匿名（1月6日） 切りもち等、食品39点
匿名（1月13日） 10,000円
匿名（2月1日） 10,000円

匿名（2月2日） 経腸栄養剤210本
匿名（2月7日）
レトルトご飯等、食品40点、日用品1点
匿名（2月8日）
缶詰等、食品17点、日用品33点
匿名（2月14日） スナック菓子等4点
匿名（2月21日） チョコレート等6点
匿名（2月28日） 福豆等7点
（令和3年12月16日～令和4年2月28日）

本紙に掲載の講座に参加されるかたは、当日自宅で検温し、マスクを着用の上ご参加ください。体調がすぐれない場合は、参加をお控えください。

本紙掲載の講座の申込みで得た個人情報、講座の運営管理の目的以外には使用しません。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、講座が中止、又は延期になる場合があります。今後の予定については、本会のホームページ（<https://www.mizuho-shakyo.org>）をご覧ください。 



地球に優しい植物油を使用した
インキで印刷されています。